

バッカスコンソート 第2回演奏会

Bacchus Consort the 2nd concert

《ルネサンスのにぎわい》



パレストリーナ作曲	/	Assumpta est Maria
モンテヴェルディ作曲	/	Ecco mormorar l'onde
ラッスス作曲	/	Matona mia
カイモ作曲	/	Mentre il cuculo 他

指揮：山口英樹 / 鈴木 信司

2017年2月5日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

神戸朝日ホール

(JR または 阪神元町駅より徒歩約5分)

入場料 1,000 円

(全席自由)



ホームページ：http://www.bacchus-consort.com

チケット申し込み：tickets@bacchus-consort.com

主催：バッカスコンソート 後援：関西合唱連盟・兵庫県合唱連盟

《プログラム》

◆ 第1ステージ 『ルネサンス宗教曲集』

ルネサンス音楽の巨匠の作品を集めました。

- ・パレストリーナ： 鹿が水の泉を求めると如く
マリアは天に上げられて 他
- ・ビクトリア： 汝ら道行く全ての人よ
- ・バード： まことの御からだ

◆ 第2ステージ 『モンテヴェルディの聖と俗』

ルネサンスから初期バロックへの過渡期に、二つの作法を使い分けた巨匠モンテヴェルディの作品を、聖と俗の両面から取り上げます。

- ・波はささやき／星に打ち明けた／主に新しき歌を歌え 他

◆ 第3ステージ 『ルネサンス音楽の玉手箱』

北欧の教会に伝わるクリスマス曲、家庭音楽、また舞曲までいろいろな音楽が飛び出します。鉄砲と共にインド洋を越えて日本まで伝来していたかもしれません。

- ・ラッスス： こだま／愛しの君
- ・ダウランド： 戻れや、愛しの君
- ・カイモ： カッコウ
- ・北欧教会伝承曲： 喜び、キリストが生まれる 他

《バッカスコンソートのプロフィール》

バッカスコンソートは、酒と芸術の神であるバッカスの名を戴き「音楽に陶醉し、酒を愛する演奏家集団」という意味で名づけました。

神戸市を拠点に 2011 年に結成。ルネッサンス、バロックのアカペラ曲を中心に、小編成で演奏するアマチュアの合唱団として活動しています。

演奏曲はルネサンス時代の合唱曲が中心で、宗教曲、世俗曲を問わずに演奏しています。



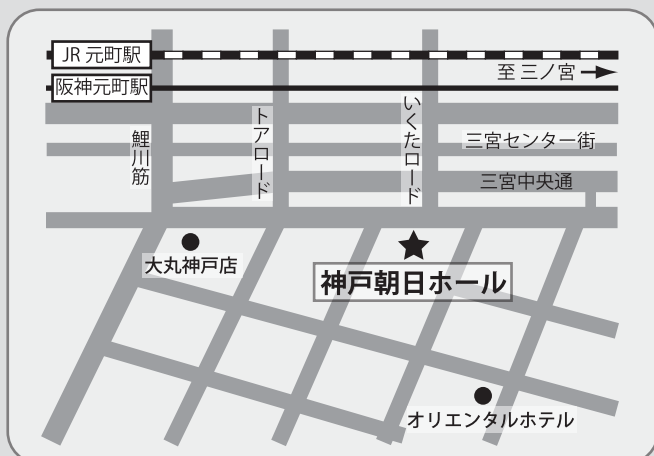
《表紙絵の紹介》



「カナの婚礼」1563年ヴェロネーゼ作（ルーブル美術館所蔵）

《会場案内》

神戸朝日ホール 神戸市中央区浪花町 59 番地



《指揮者プロフィール》

● 山口 英樹 (常任指揮者)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒。声楽を故・浦山弘三、指揮法を田中信昭の各氏に師事。

神戸市立中学校及び武庫川女子大学附属中学校・高等学校の音楽科教諭、同大学講師などを歴任。在職中からそれぞれの学校のコーラス部のみならず、少年少女、大学、一般の合唱団を指揮し、多数のコンサートやコンクールにおいて関西の合唱界をリードしてきた。

現在も、大学、一般（おかあさんコーラスを含む）の合唱団の常任、客演指揮や、講演、講習会講師、コンクールの審査員、コンサートの司会者としても活躍し、委嘱初演や海外公演も多い。各種の合唱コンクールに於いて全国大会出場は 50 回を超える。

関西を中心に十数団体の合唱団の指揮者を務める。「平成指揮者十人の会」「21 世紀の合唱音楽を考える会・音楽樹」同人。JCDA 日本合唱指揮者協会会員。兵庫県合唱連盟理事。神戸女学院大学非常勤講師。

● 鈴木 信司

'87 年大阪大学大学院修了。在学中より通信工学を学ぶかわら中世からルネサンス、バロックまでの音楽に深く接し、歌とルネサンス時代の楽器での演奏活動を行う。

'95 年からは '03 年までルネサンス専門の合唱団で指揮者としても活動。

近年は、英国ケンブリッジのルネサンス音楽講習会で研鑽をつむ。

リコーダーを白木絵美氏に、古楽歌唱を月岡聖芳氏に師事。

ヴォーカル・アンサンブル・レティツィア・ノーヴァ、コレギウム・ヨハネス、バッカスコンソート、ミモザの会各メンバー。